



■発行/公益財団法人 愛媛県スポーツ振興事業団

■愛媛県武道館

開館時間/午前9:00~午後9:00

休館日/毎週月曜日(月曜日が休日の場合は、直後の休日でない日)
年末年始

住所/愛媛県松山市坪西町551番地

T E L / 089-965-3111

F A X / 089-965-3388

ホームページ/<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp>

予約システム/https://www.pref.ehime.jp/s_yoyaku/servlet/Top

第三十四号

TOPIX

- 1 2017「えひめ国体」を盛り上げよう！(合気道)
- 2 2015紀の国わかやま国体相撲競技リポート(相撲)
- 3 わかやま国体を振り返って(空手道)
- 4 少林寺拳法について(少林寺拳法)
鏡開き式について

合気道

2017「えひめ国体」を盛り上げよう！

執筆/愛媛県合気道連盟 会長 橋田 一美

「愛顔つなぐえひめ国体」が目の前に迫ってきました。愛媛県合気道連盟でも2017年、今治市において、デモンストレーション種目として演武大会を開催することになりました。

本年度開催された「わかやま国体」でも、合気道ゆかりの田辺市においてデモンストレーション種目として合気道演武大会を開催し、大盛況を博しました。

ここに紹介させていただいた「みきゃん」は合気道の代表的な技、「小手返し」をイメージしたマスコットとなっています。

合気道は、開祖植芝盛平翁(1883~1969)が日本伝統の奥義を究め、さらに厳しい精神的修行を経て創始した現代武道です。また、合気道は競技を行いません。お互いの習熟度に合わせて技を繰り返して稽古し、心身の錬成を図ることを目的としていますので誰でも稽古できます。このような特色が

ら、道場には年齢、性別、職業、国籍を問わず多くの人々が集まってきます。その結果、稽古を通して人間理解が深まり「和」の精神が生まれてきます。国外に目を向けてみますと、オリンピック種目以外のスポーツの祭典、ワールドゲームス(4年に一度の開催で、2017年はポーランド)にも国際合気道連盟を通じて参加しています。ワールドゲームスはIOC後援の大会で年を追うごとに盛んになってきています。愛媛県合気道連盟におきましても今年度、武道体験フェスタ、護身術講座、地域社会武道(合気道)指導者研修会など、様々な機会をとらえ、県内の合気道人口を増やすために努力してきました。私たちは「愛顔つなぐえひめ国体」を契機に、合気道の持つ魅力をさらに広めていきたいと思っています。



2015紀の国わかやま国体相撲競技リポート

執筆／愛媛県相撲連盟 理事長 龍山 義弘

少年の部は、国体で61年ぶりの団体戦入賞!!
個人戦では田中大介(野村高校3年)が準優勝!!

9月27日(日)から29日(火)までの3日間にわたり、「2015紀の国わかやま国体」が、和歌山県和歌山市の県営相撲場で開催されました。

初日(27日)は、少年の部の団体予選が行われました。

少年の部は5人制で競われ、先鋒、二陣、中堅、副将、大将と大会前に申請した順番に従って戦い、3人以上勝った方のチームの勝利となります。

予選は、47都道府県の代表チームが予選3試合を戦い、勝率の高い16チームが、優秀団体・決勝トーナメント戦に勝ち上がります。しかし、競技得点を獲得し、本県の天皇杯獲得に貢献するためには、さらに決勝トーナメント1回戦で勝ってベスト8まで勝ち上がる必要があります。



団体予選1回戦は山形県に4対1で勝って幸先良いスタートを切りましたが、予選2回戦は来年の国体開催県の岩手県と対戦し、2対3で惜しくも敗れました。

続く3回戦では、同じ四国の香川県と対戦して5対0と全勝したことで、2勝11点を獲得、予選13位で優秀16団体による決勝トーナメントに進出することが出来ました。

2日目(28日)、決勝トーナメント1回戦の対戦相手は、抽選の結果、強豪青森県との対戦が決まりました。青森県との対戦では、2対2で大將戦までもつれる接戦となり、入賞をかけた戦いの行方は、大将の野村高校1年生、住木選手に託されました。

住木が立ち会いで思いっきり当たり、土俵際まで押し込むも相手の下手投げに住木の身体が一瞬浮き上がりました。しかし爪先立って上手から思い切って投げを打ち返すと相手の身体が反転。そのまま体を預けて、勝利を勝ち取りました。

この瞬間、ベスト8以上に進出し、入賞することが確定しました。(念願の競技得点を獲得!)



▲大將戦、上手投げで入賞を決めた瞬間

続く団体戦・準々決勝は、秋田県との対戦。この対戦でも2対2で大將戦までもつれる接戦となり、またしても勝負の決着は、1年生の住木に託されました。大將戦は、相手の立ち会いの奇襲「足取り」からの渡し込み(相手の大腿部を引っ張りながら押し倒す技)にたまたま横転。惜しくも4強入りは逃しました。しかし、少年の部としては、実に61年ぶりとなる団体第5位入賞を果たしました。

続いて行われた個人戦では、野村高校3年生の田中大介選手が、準優勝に輝きました。田中選手は今年の全国選抜相撲金沢大会とインターハイでも個人準優勝に輝いており、3大会連続の全国大会個人準優勝。

国体少年の部における個人準優勝は、昭和30年の神奈川国体で宇和島東高校の谷本選手が個人準優勝を果たして以来、60年ぶりの快挙でした。

今回の国体の団体戦と個人戦の入賞は、2年後のえひめ国体に向けて大きな弾みとなりました。来年の岩手国体は、さらに上位を目指して精進を重ねたいと思います。



個人準優勝の田中大介選手
身長184cm、体重160kgの
恵まれた身体▶

わかやま国体を振り返って

執筆／愛媛県空手道連盟 理事長 伊藤 忠徳

■わかやま国体出場選手紹介一覧

組手・成年男子 軽量	水野 泰輔	・成年女子	丸石 結奈
・成年男子 中量	水野 恭輔	・少年男子	野村 俊太
・成年男子 重量	本田 哲也	・少年女子	水野めぐみ
形・成年男子	星川 大地	・少年男子	上田 龍臣
・成年女子	紺屋沙也乃	・少年女子	該当者なし(ブロック敗退)



和歌山県白浜町で行われた空手道競技は、えひめ国体予定会場の伊予三島公園体育館よりひと廻り小さい町立体育館であった。しかしながら、観客席は約1000席あり、また練習会場と待機場所は別棟に用意され、選手集合場所も別室に準備され小規模施設でありながら、手狭な施設を感じさせない工夫とやりくり上手が感じ取れた。

今年のえひめ選手団は、上記9名と監督・コーチ他4名の合計13名での参加となった。

また、我々県連盟役員も、丹下副会長以下6名で先進国体視察団として、応援参加した。

今回の国体では話題性のニュースを含め、えひめ国体に向けての収穫を3つ程紹介してその戦績結果を振り返ることとする。

一つ目は、少年男子組手競技の野村選手(松山工業高)が、3回戦を突破し5位入賞を果たしてくれたことである。強豪県の千葉・熊本の選手を破っての5位なので価値ある入賞であると考えており、3年ぶりに入賞者が出て、少しでも総合順位に貢献出来たことを嬉しく思っている。

二つ目は、今年度『近大工学部』を卒業した重量

級の本田選手をスポーツ専門員として獲得し、愛媛県選手の仲間入りをしてもらった。このことは、各選手に勢いが付き本田効果が出始めている様であり、その結果成年組手の軽・中・重量3名とも、3回戦進出(ベスト17)を果たし、入賞まであと一歩のところまで行き応援側を楽しませてくれた。



少林寺拳法について

執筆／愛媛県少林寺拳法連盟 理事 丹下隆之

開祖 宗道臣は、すべてのものが「人」によって行われるとすれば、真の平和の達成は慈悲心と勇気と正義感の強い人間を一人でも多く作る以外ないと気づき少林寺拳法を創始されました。

少林寺拳法の修練の目的は、己を修め、己に克ち、自己を確立して、それを寄り所とするに足る人間になること、力に裏づけされた勇気と行動力を持った人間になることです。

少林寺拳法は、宗門の行という性質から、その演練に際しては、互いに技を掛け合い上達を図る相対演武を中心としており、組手主体の切磋琢磨の中から自然に拝みあい、援けあう人間尊重の精神を養うことを主眼としている。こうして習得した一つ一つの基本組演武をさまざまに変化する相手の攻撃を想定しながら組合わせ、もってそれぞれの段階における修行の目途としたものを組演武というのであります。

少林寺拳法の法形は、踊りや芝居の殺陣のように見せることを目的としたものでなく、あくまでも自己確立のための修行であるから、組演武を行うに当たっては、各自が修得した個々の基本法形の正確さはもちろん、技と技の連絡や変化に重点を置き、質実剛健に行うよう特に留意しなければならない。

なお少林寺拳法は基本技だけでも数百を有するほど変化に富んでいるので、組演武も、各位の創意にもとづく千変万化の組み合わせと緩急自在の演練によって、汲めども尽きぬ妙味が生ずるものであり、あたかも作曲家が一つ一つの音符を五線紙上に配する人生の喜びや悲しみを歌い上げられるように、護身の芸術とも云うべき演武を展開することができるのである。

我々愛媛県少林寺拳法連盟は、大会運営、武道館行事への参加を通して、少林寺拳法の普及、発展に努めています。



大会予定

- 少林寺拳法愛媛県運用法研究会
- 日時／11月22日 9時～
- 場所／愛媛県武道館



※写真はすべて昨年の様子です。

平成28年鏡開き式

開催日：平成28年1月10日(日)

時間：9時～

☆記念品の配布や餅まきも行うのでぜひご来館ください!!

● 愛媛県武道館ホームページ ●



モバイル用



パソコン用

